

戦後最大クワースの豪雨災害。早期に激甚の指定を 日本共産党市議団が現地調査を踏まえて緊急要望書提出



被災されたみなさんの要望をお聴きしています。また、マスコミが上越市の被害状況をあまり伝えないことから、私のブログやツイッターで、毎日全国に発信しています。これまでに寄せられたご要望は、「家のそばで崩れた土砂は自力ではとても片付けられない。助けてほしい」「雪が降る前に水路を復旧してもらいたい。さもないと来年、作付できない」など多数あります。これらは、直接、担当課につないだり、緊急要望書などにまとめました。

市長に7項目の緊急要望書提出

日本共産党上越市議団は8月2日、村山市長に対して、今回の豪雨災害に伴う緊急要望をまとめ、提出しました。要望書は馬場和明危機管理監に手渡し、私と上野議員が内容の説明をしました。市ではこの要望書を受けて、すでに総合事務所や関係課が動き出しています。要望書の主な内容は以下の通りです。

すごい雨の降り方でした。吉川区代石(私の地元町内)では30日の朝7時から1時間雨量が66ミリ、42ミリと続き、一日の累計雨量は193ミリにもなりました。今回の豪雨で、市内では吉川区、大島区、柿崎区、浦川原区を中心に建物浸水、道路の崩落、田畑への土石の流入などの大きな被害が出ました。(写真上は吉川区原之町、下は柿崎区上金原)

31日夕方現在、住家の床上浸水は3、床下浸水64、非住家の浸水109となつています。市道関係では、赤沢泉線、枋窪線、上猪子田下向古川線など74路線に被害が出ました。このほか、農地、農業用施設、林業施設等にも多大な被害が出ています。

こうしたなか私は、30日以降、毎日、市内各地をまわって被害現場を視察するとともに、

1. 早急に激甚災害の指定がされるよう、国に強く働きかけていただきたい。
2. 土石流や地滑りなどの危険地域での災害を未然に防ぐため、緊急対策を強めていただきたい。
3. 吉川区川谷地区住民の生活維持のため、主

要地方道上越安塚柏崎線、県道川谷十町歩線、県道大湯高柳線における道路の災害復旧が早期に行われるよう、県に強く働きかけていただきたい。

4. 市内の被災地においては、避難場所の指示などが二転三転し市民に混乱を招いた地域がある。また、大出口川沿い、保倉川沿いの関係町内会で、隣接してしながら避難勧告が出たところと出なかつたところがある。今後このようなことのないように、市民への情報提供のあり方を即刻整備していただきたい。

5. 防災無線が聞こえなかつたなど、運用に支障があつたところがある。早急に状況を調査し対策を講じていただきたい。

6. 農道等の災害に伴い、秋の収穫作業ができないおそれのある地域がある。今後の稲作などに支障が出ないよう、早急に対策を講じていただきたい。

7. 農地・農業用施設の災害復旧にあたっては、現地の状況について詳しい関係者の意見を反映させて対策を進めていただきたい。



緊急要望書を手渡し、内容を説明する私。日本共産党市議団では10日、新潟県庁にも出向いて農地、農業用施設災害復旧などで要望することになっています。(2日、上越市役所で)



今回も水に浸かった小苗代のハウス



川崎地内で土嚢詰めをする消防団の人たち



田んぼや農業施設を守るため頑張る人たち
(代石地内)



今回の豪雨災害で最も大きな地滑りを起こした「またたき温泉」近くの山を見る私。(30日午後)



【写真右】山からの水で畦も田んぼも滅茶苦茶に。(入河沢地内)

【写真上】は天林寺の池の堤体の崩れ
【写真右】家屋裏山の崩れ(入河沢)
【写真下】名木山地内で地滑り現場を視察する日本共産党市議団。



【右の写真】山が崩れて土砂が流れ込んだ田んぼ(下中条地内)





足谷の水路はこの通り。早期に復旧工事をしてもらわないと来年の作付ができません。



【写真上】足谷で「大久保のとちゃ」などから説明を受ける私。【写真下】板山で玄関先の崩落をとめる人たち

主要地方道上越安塚柏崎線板山地内では道が分断されました。視察する日本共産党議員団。



今回の豪雨では家も道も田畑もやられました。農地、農業用施設の災害は大島区がもっともひどい状態です。耕作者のひとりUさんは、「これで3回目だ。同じ工法ではまた被害が出る。災害復旧にあたっては関係農家の声をしっかりと聞いてほしい」と訴えていました。（左の写真は板山で水路の復旧をしている人と話をする日本共産党市議員団。左下写真は藤尾地内の地滑り。下の写真は足谷で調査をする私）





足谷の水路はこの通り。早期に復旧工事をしてもらわないと来年の作付ができません。



【写真上】大島区足谷で耕作者の方から説明を受ける私。【写真下】同区板山で玄関先の崩落をとめる人たち

主要地方道上越安塚柏崎線板山地内では道が分断されました。視察する日本共産党議員団。



今回の豪雨では家も道も田畑もやられました。農地、農業用施設の災害は大島区がもっともひどい状態です。耕作者のひとりUさんは、「これで3回目だ。同じ工法ではまた被害が出る。災害復旧にあたっては関係農家の声をしっかりと聞いてほしい」と訴えていました。（左の写真は吉川区名木山で土砂崩れ現場を視察する日本共産党市議団。下の写真は浦川原区上柿野）



左の写真は浦川原区小谷島地内で水路の復旧で頑張る人たち。

